

吃音はなおるの？

どもり始めた子どものうち、約7割は成長とともに、スラスラと話せるようになっていっています。そのため、「しばらく様子を見ましょう」「そっとしておけば大丈夫ですよ」などと、深く考えずに助言する人もいます。しかし、大きくなって吃音が続く子どももいます。何もしないで様子を見ているだけでは、吃音が悪化し、いっそう話づらくなる心配もあります。

目の前にいる子どもがどちらのグループになるのかを正確に予測することは、今のところできません。しかし、適切な対応が子どもの話し方を楽にすることがわかってきました。

お子さんの話し方が気になるときは、このパンフレットに書いてあることをやってみたり、できるだけ早く専門家を訪れたりして、今できることをやってみましょう。

吃音についての豆知識

- 人口の約1%の人に吃音があるとされています。男の子に多いようです。
 - どもり始める年齢は、大部分が2歳～5歳です。
 - 波(変動性)があり、どもることが目立つときもあれば、目立たないときもあります。
 - 話すときからだに力が入ったり、からだの一部を動かしたりすることもあります。
 - どもることを気にして、話すことを嫌がったり、出しにくい音を避けて話したりすることもあります。
- ★教師や弁護士、アナウンサーなど、話すことの多い職業で活躍する人もたくさんいます。

おすすめの本

- ①『もしお子さんがどもったら』長澤 泰子 訳
- ②『子どものどもりQ&A』長澤 泰子・中村 勝則 訳
上記2点 (各300円) 全国ことばを育む親の会発行
- ③ 絵本『どもってもいいんだよ』
- ④ 絵本『どもるってどんなこと』
上記2点 (各1000円) ことばの臨床教育研究会発行



③



④

上記4冊は、全国言友会連絡協議会のホームページで購入できます。

- ⑤『子どもがどもっていると感じたら』
廣島 忍・堀 彰人編 大月書店 (税込1575円)
一般の書店やインターネット販売で取り寄せることができます。

～どもる仲間のセルフヘルプ・グループ～

NPO法人
全国言友会連絡協議会

◆ ホームページ ◆

<http://www2m.biglobe.ne.jp/genyukai/>

※このパンフレットは、上記からダウンロードできます。

◆ 電子メール ◆

genyukai@mua.biglobe.ne.jp

電話 03-3942-9436

FAX 03-3942-9438

平成19年4月1日発行 (初版)

吃音相談シリーズ・幼児編

うちの子はどもっているの？

お子さんの話し方が気になる方へ

こ、こわれちゃった。
ぼ、ぼーくのだいじな、
くるま…



ことばの臨床教育研究会 編
NPO法人 全国言友会連絡協議会

うちの子はどもっているの？

お子さんはどんな話し方をしていますか。「えーと、えーと」、「あのね、あのね」、「ぼくね、ぼくね」といったように、ことば全体をくり返すものでしょうか。このような話し方は、小さい子どもによく見られるものです。

しかし、次のような話し方が続くようなら、ことばの専門家に相談した方がよいかもしれません。

- ことばの一部をくり返す
(例:「あ、あ、あ、あのね」)
- 引き伸ばす
(例:「き————のうね」)
- つまる
(例:「……………ったまご」)

なぜ、どもるの？

ことばがどもることを吃音^{きつおん}といいます。吃音の原因については、百年近く様々な研究が行われてきています。しかし、いまだにはっきりとした原因はわかっていません。

かつて吃音の原因は、周りの人が心配し、子どもの話し方を言い直させたり注意したりするからだと考えられていました。そのため、つらい思いをする親御さんがいましたが、この考えはすでに否定されています。

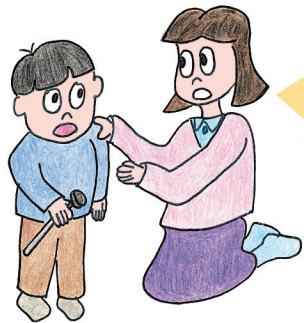
現在、吃音は、子どものどもりやすい体質と周囲の環境とがかわり合って、ことばの発達が発達時期に生じると考えられています。

子どもの話を聞くときには…

- お子さんの言いたいことがわかったことをことばやうなずきで伝えましょう。



とれちゃったのね…



×

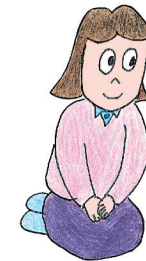
ゆっくりー！

×

もう少しでさうして

- 話を途中でさえぎったり、言いたいことを先取りしたり、途中で質問したりしないようにしましょう。
- 話し方への注意はやめましょう。たとえば、言い直しや、ゆっくり話させるなどです。

生活面で気をつけたいこと…



- 一日少しでも、親子二人でゆったり向き合う時間をつくりましょう。



- 生活のペースは、できるだけゆったりしたものにしてしまおう。
- きょうだいがきそって話そうするときには、順番に聞くようにしましょう。
- 家族や友達が、話し方を責めたり、まねたり、からかったりしないようにしましょう。

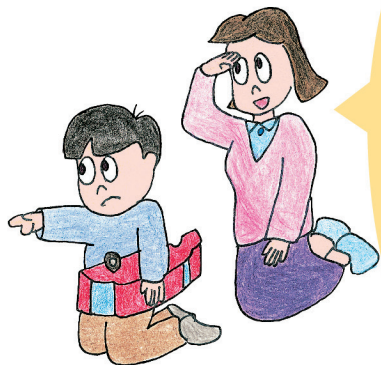
かがわり方のヒント

（子どもが話してきた内容にそって、会話を続けるようにしましょう。）

（子どもの気持ちにそって、やりとりをするようにしましょう。）

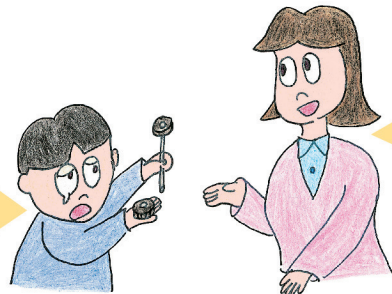
子どもに話しかけるときには…

- ゆっくりめに話すようにしましょう。



いっしょにさがしてみよう。どこかなー！

な、な、な、な、ないんだよー！



な、おらないの？ みせてーらん。

- 短くわかりやすい文で、話しましょう。
- お子さんが話し終えてから、少し間をおいて話し始めましょう。

こんなとき、どうする？

【Aちゃんの場合】：自分の話し方について、話してきたら…

「ぼく、どうして、あ・あ・あってなっちゃうの？」

「どうしてかなあ……。あ・あ・あってなっちゃうの、いやなの？」

「うん……」

お母さんは話を聞いて、Aちゃんの気持ちがわかりました。

その後、お母さんはAちゃんと話し合い、

「ことばの先生」に相談することになりました。

【Bちゃんの場合】：自分の話し方にイライラして…

Bちゃんは、何か言おうとしているのに言えないらしく、

「言えないよー」と言って、泣きながら床をたたき始めました。

お母さんがだまって抱きしめると、Bちゃんは落ち着きました。

